

議会の視点はこうです！

【議第 25 号】令和元年度富士宮市病院事業会計補正予算（第 3 号）

市立病院の経営の今



一般会計から病院事業会計に5億円の繰り出しがされることとなりました。審議の際、  
 財政部から今回の繰り出し金増額の理由について以下の通り説明がありました。  
 「企業会計なので独立採算が大前提。とはいえ、地方公営企業なのでその性質上、不採算部門など  
 も担わなければならない。総務省でここまでの範囲ならば繰り出しても一定の独立性は担保される  
 といった考えが示されている。その考えの中で、病院の財務状況、資金状況から当初予算では9億  
 円の繰り出しを位置付けていたが、直近の財務状況等を見る中で今回の5億円の繰り出しを判断  
 した。」とのことでした。

富士宮市立病院は平成 24 年度まで黒字経営でした。現金資金も多い時で 20 億円を超えていま  
 したが、経営の悪化に伴い現金資金を取り崩すような形で経営上の不足分を充ててきたことにより、  
 ここにきて不足してきました。平成 26 年の整形外科縮小による医業収益の減少は、経営悪化の  
 大きな要因の一つに挙げられます。

議員からは、「経営改善のためのコンサルを検討すべき」「職員もコスト意識を持つべき」といった  
 意見が出されてはいたものの、全国的に公立病院を取り巻く環境は厳しく、経営状況もほとんどの  
 公立病院が赤字です。須藤市長も議会答弁の中で、病院の経営改善に向けてしっかりと取り組んで  
 いくとのことでしたが、経営が劇的に黒字に転じることは非常に困難であることも示し、議会  
 には温かい目で見守ってほしいと結びました。

市民の地域医療の要である富士宮市立病院の大変厳しい状況は、2月定例会において補正予算の  
 審議、一般質問、総括質疑、予算審査特別委員会の全てで議論が白熱したことから、富士宮市立  
 病院の現状が富士宮市政において大きな課題であることを改めて認識した2月定例会でした。

【2月定例会で賛否が分かれた議案】

○は賛成。×は反対。

議員名（議席番号順）	渡 辺 佳 正	若 林 志 津 子	近 藤 千 鶴	辻 村 岳 瑠	細 沢 覚	望 月 則 男	齋 藤 和 文	佐 野 寿 夫	植 松 健 一	野 本 貴 之	中 村 憲 一	深 澤 竜 介	佐 野 孜	佐 野 和 彦	遠 藤 英 明	稲 葉 晃 司	諏 訪 部 孝 敏	鈴 木 弘	村 瀬 旬	小 松 快 造	松 永 孝 男	
議第 2 号 富士宮市国民健康保険 税条例の一部を改正す る条例制定について	×	×	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 26 号 令和 2 年度富士宮市 一般会計予算	○	○	×	○	○	×	○	※	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	
議第 28 号 令和 2 年度富士宮市 国民健康保険事業 特別会計予算	×	×	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決第 2 号 近藤千鶴議員の（仮称） 富士宮市立郷土史博物館 に対する言動等について 陳謝を求める決議	×	○	—	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は表決に加わりません